



初巻初巻

信上田

特別  
6553  
785





梅居士たすけぬ一巻の  
秋涼初と赴これぬも  
たすけぬむき一巻の

實に梅一  
影を忘りぬ

如く如く

胡椒  
千巻





送別

江津も早くわさく津津しきまはらう

麦二

しんすむの梅のぼしを角刀十

李御

うねるよ山もぬるやきお海

如毛

茶乃香を包んてもくれん津津

林子

御ふり佳真うかろるきおものぬ  
を頭う探るま

水石

枝くも新おらうやあま乃水

雨云帯

あまの香

うねるまをさくさくしきおらう

書二



の三

海地是ういふこをささりあはる

如毛

本殿

あはれみそきあはるや月乃庭

千苓

飛石

ふ石れき〜あは〜一〜あ

雨石

石修葺

ゆつあや〜あ〜あ〜あ石修葺

有常

垣

風流や垣いぢる〜一〜あ乃〜

麦周

柱也

指く音は流〜あ〜あ〜あ

丸十



と運乃あゝを

西心ふくやあ月あくを望の連

旅行吟

棧や塔吟も山乃を

と望くあ新坂や

望ま〜月と〜吟やきお〜

九十

全

全

乃より運〜うき家一志の

乃を昆羅う語〜ヲを中の都〜

竹れハ大久〜ん〜

水乃布ナ狄ニ狄ニ狄ニ〜名々〜

あ〜

ふれ〜お好〜

全

一志



素子のあはれに見ゆ浦の

清浄のあはれ入む清のあはれ見ゆ

九十

神法樂

まはらばやまのまはらばやまのまはらばやま

全

文句

まはらばやまのまはらばやまのまはらばやま

千卷

九十の清のあはれ

新涼のあはれ

そと

清のあはれ

眠江

日影のあはれ

喜二

清のあはれ

一喜のあはれ



漕人のあれども秋も月も  
換招もあははるる海可  
妻の何れかこころぬあし  
鈴くもやよこせの音も井戸は  
い〜とよみ果てや秋の蝉  
あつたてしむぬ整やあふら  
れ

いや山田

津 麦浪

二日坊

上野 茶藨

湖南 河鳥

文素

可風

清く〜れまや海とぬ橋乃〜  
沖貫く沙浜を〜りもあつたのそ  
あ〜らるるを漕〜り〜きあつた

浴

文下

中川

蝶友

水

既白

明和四丁亥秋

花浴橋治梓







